

競技規定 (注意事項)

◇ 競技方法 ◇

1. (公財) 全日本空手道連盟競技規定ならびに賢友流空手道競技規定を併用して行う。
2. 競技種目 形競技 (個人・団体)、組手競技 (個人・団体) 詳細は別紙の通り。
3. 対戦相手の間違いが生じないように、各コートでゼッケン番号を確認して競技を開始する。
4. 判定に際し、ビデオは採用しない。

【形競技概要】

- ・審判員の位置 団体は前一行、個人は正面と四隅
- ・赤青の旗判定によるトーナメント制。(同時演武)
- ・小・中学生団体戦は1チーム3名必要で、足りなければ棄権とする。
- ・マスクを着用してもよいが、着用する場合は白色に限る。

幼児・小学生 無級	道場の指導形～平安の形より演武。同じ形を連続して演武しても良い。
小学生4級～10級 小学生団体1年～3年	平安の形のどれを演武してもよい。同じ形を連続して演武しても良い。
小学生1級～3級 中学生・高校生 段外 一般・壮年 段外	賢友流の平安、基本形のどれを演武しても良い。ただし、同じ形を連続して演武できない。
小学生・中学生 有段	演武形はベスト8決定までは賢友流の平安、基本形で連続可とする。 準々決勝～決勝は、賢友流の平安、基本形を含む自由形とし、同じ形を連続して演武できない。
小学生団体4年～6年 中学生団体	演武形は賢友流の平安、基本形を含む自由形とし、同じ形を連続して演武できない。
高校生 有段 一般・壮年 有段	演武形は賢友流の平安、基本形を除く自由形とし、同じ形を連続して演武できない。
海外支部所属選手	演武形は平安を含む自由形とし、同じ形を連続して演武しても良い。

【組手競技概要】

- ・勝敗：6ポイント差で勝ちとする。ただし、団体戦及び幼児は4ポイント差で勝ちとする。
- ・競技時間：高校生・一般・壮年は1分30秒フルタイム。
：幼児・小学生・中学生は1分フルタイム。
- ・小学生団体戦の先鋒・中堅・大将戦においては、個人戦と同様に勝敗を決する。(引き分けはなしで代表決定戦なし) 2人が先に負けても3人目は競技を行う。
各1チーム3名(2名でも出場可) 先鋒1、2年、中堅3、4年、大将5、6年 男女混合
- ・中学生・高校生はカデット・ジュニアルールを採用する。(面に拳サポーターが触れても違反)
- ・小学生以下については、「12歳未満の組手競技規定」を採用する。
- ・10カウントルールは採用する。
- ・メンバーに装着するマウスシールドは任意とする。

必要な安全具一覧 ○：必要 △：装着を推奨する -：不要

安全具	幼児 男女	小学生・中学生・高校生 男女	一般・壮年 女子	一般段外・壮年 男子	一般有段 男子
面 (マウスシールド・マウスピースは任意)	○	○	○	○	○
拳サポーター	○	○	○	○	○
胸あて (道着の中へ着用)	○	○	○	○	○
インステップガード・シンガード	△	△	△	△	△
ファールカップ	△(男子)	○(男子)	-	○	○